

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 日 作成

事務事業名		道路位置指定進達事務			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	1	人々が安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 辻 賢一郎
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	都市計画課	担当者名 岡田 晃治
	基本事業	17	計画的な市街地の作成		所属班	都市計画班	(内線)
					法令根拠	建築基準法	

予算科目	会計	1	款	8	項	5	目	1	事業連番	-	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12	
														コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 昭和46 年度)  期間限定複数年度 ( ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)  
**【事業の内容】**  
 合志市で建築基準法に適合する道を作ったものが、その道を認定する合議について県に申請を行う。  
**【業務の流れ】**  
 道路位置指定事前協議書を受付、建設課、上下水道課に合議を行い、県に進達を行う。  
**【主な予算費目】**予算は無し

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標  
 ① 手段(主な活動) 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)  
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 道路位置指定事前協議書を受付、関係課に合議を行い、県へ進達を行う。  
 平成20年度に1件の進達を実施。他に相談確認の受付。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	件
→ アイ	受付件数
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	件
→ アイ	市内の道路位置指定申請件数
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	棟
→ アイ	建築着工件数
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
→ アイ	残存農地面積/市街化区域面積
→ アイ	宅地等開発された面積/宅地等開発計画面積

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0  0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円							
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
延べ業務時間		時間	50	50	50	15	50	50	50	
(B)人件費計		千円	199	199	199	60	199	199	199	
トータルコスト(A)+(B)		千円	199	199	199	60	199	199	199	0

活動指標	件	1	1	1	2	2	2	2	2	目 標 合 計 値 画  22 年 度
対象指標	件	1	0	1	1	2	2	2	2	
成果指標	棟	475	389	500	365	500	500	500	500	
上位成果指標	%	18.1	17.3		16.9					
	%	7.5	24.6		32.2					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 昭和46年5月17日に都市計画法が施工されてから、都市計画区域はすべて建築確認が必要となったので、接道の確認が必要となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 平成14年度までは道路位置指定の事前協議の進達のみだったが、事前協議後に変更が生じる場合があったため、申請書も進達を行っている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 申請書について、「以前のように市に合議を1回にして欲しい」等の要望があった。

事務事業名	道路位置指定進達事務	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <b>意図の「建築基準法に適合した建築の施工が出来る」ことにより、結果の「安全なまちづくり」に結びつく。</b>
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <b>申請の合議は市町村でなければならない。</b>
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <b>対象・意図ともに適正である。</b>
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <b>必要に応じて毎年申請があるので、向上の余地がある。</b>
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <b>防災に強いまちづくりが進まなくなる。</b>
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <b>類似事業はない。</b> <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>事業費はない。</b>
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>最小限の人件費しか計上していないので、削減は出来ない。</b>
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <b>すべての道路位置指定申請について、合議を行っているので公平である。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性、③効率性、④公平性については、適切である。 ②有効性については必要に応じて申請があるので、向上の余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2)貢献度	10	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )